

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分
 【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2004-533535 (P2004-533535A)
 【公表日】平成 16 年 11 月 4 日 (2004.11.4)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-043
 【出願番号】特願 2003-510740 (P2003-510740)
 【国際特許分類】

C 0 9 K 3/10 (2006.01)

F 1 6 J 15/10 (2006.01)

F 1 6 J 15/12 (2006.01)

【 F I 】

C 0 9 K 3/10 Q

F 1 6 J 15/10 F

F 1 6 J 15/10 X

F 1 6 J 15/12 A

【手続補正書】
 【提出日】平成 17 年 6 月 30 日 (2005.6.30)
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】請求項 8
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【請求項 8】

前記シール用ホイルはシール用ホイルとして使用される前に少なくとも部分的に乾燥している請求項 1 または 3 に記載の方法。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】請求項 9
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【請求項 9】

シール用ホイルは製造工程の使用時に、少量の水分を含んでいる請求項 1、3 及び 8 のいずれか一項に記載の方法。

【手続補正 3】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】請求項 10
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【請求項 10】

シール用ホイルは前記シール用ホイルが形成される形成シートからの除去時に少量の水分を含んでいる請求項 1、3、8 及び 9 のいずれか一項に記載の方法。

【手続補正 4】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】請求項 12
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【請求項 12】

前記乾燥工程 (b) の前に前記湿ったシール用ホイル材料の固体成分が該材料の 2 0 乃至 7 0 重量 % の範囲となる請求項 1 に記載の方法により製造されたシール用ホイルを含むガセット。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 3】

前記湿ったシール用ホイル層材料の生地は 5 0 乃至 1 3 5 の間の温度にて乾燥される請求項 1、3、8、9 及び 1 0 のいずれか一項に記載の方法。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 4】

前記弾性材料は、ガスで剥離されたパーミキュライトの粒子からなる請求項 1、3、8、9、1 0 及び 1 3 のいずれか一項に記載の方法。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 5】

使用される材料が破碎されるか、又は粒子径が低減されている請求項 1 4 に記載の方法。